

レジメン名

rituximab maintenance
-----------------------

出典

リツキシマブ点滴静注標準使用ガイド2022年12月改訂  
 リツキシマブBS点滴静注「ファイザー」添付文書2023年9月改訂  
 Lancet 2011;377:42-51  
 N Engl J Med 2012;367:520-31

実施部署区分

<input checked="" type="checkbox"/> 入院	<input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input type="checkbox"/> 処置
--	--	-----------------------------

対象疾患

RIT+化学療法後の悪性リンパ腫
<input type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 補助療法(術前・術後) <input checked="" type="checkbox"/> 初発 <input type="checkbox"/>

投与減量の基準

その他			

1クール期間

総クール数

(次のクールまでの標準期間)

投与中止の基準

その他			

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
リツキシマブ	375mg/m <sup>2</sup>	輸液 1-4mg/mLに 希釈	初回は 50mg/hr から漸増 <sup>※1</sup>	d1
※1 初回リツキシマブの投与速度は50mg/hrで開始し、問題なければ30分毎に50mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 2回目以降、速度を選択することができる。 ①初回投与時に副作用が軽微であった場合、2回目以降は100mg/hrで開始し、30分毎に100mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 ②臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/mm <sup>3</sup> 未満である場合、90分間で投与(最初の30分で投与量の20%を投与し、その後60分で投与量の80%を投与)することができる。				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ホスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ①アセリオ(1000)500mg+ボララミン5mg(15-30min) ②リツキシマブ375mg/m <sup>2</sup> +生食適量(50mg/hrから漸増 <sup>※1</sup> ) ③生食50mL(フラッシュ用)